

みずほCustomer Desk Report 2018/11/01号(As of 2018/10/31)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.28
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.07	1.1345	128.26	1.2706	0.7100
SYD-NY High	113.38	1.1360	128.55	1.2831	0.7107
SYD-NY Low	112.81	1.1302	127.67	1.2702	0.7069
NY 5:00 PM	112.96	1.1309	127.79	1.2767	0.7074
NY DOW	25,115.76	241.12	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,305.90	144.25	日本10年債	0.1200	0.00bp
S&P	2,711.74	29.11	米国2年債	2.8689	2.02bp
日経平均	21,920.46	463.17	米国5年債	2.9775	2.72bp
TOPIX	1,646.12	34.66	米国10年債	3.1483	3.03bp
ソコ日経先物	21,795.00	140.00	独10年債	0.3840	1.70bp
ロンドンFT	7,128.10	92.25	英10年債	1.4345	3.70bp
DAX	11,447.51	160.12	豪10年債	2.6130	3.10bp
ハンセン指数	24,979.69	394.16	USDJPY 1M Vol	6.90	▲0.18%
上海総合	2,602.78	34.74	USDJPY 3M Vol	7.30	0.00%
NY金	1,215.00	▲10.30	USDJPY 6M Vol	7.73	▲0.10%
WTI	65.31	▲0.87	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	190.97	▲0.79	EURJPY 3M Vol	8.93	▲0.15%
ドルインデックス	97.13	0.12	EURJPY 6M Vol	9.36	▲0.14%

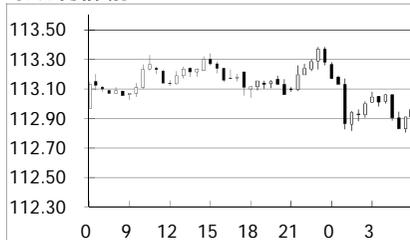
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月31日	09:30	豪 CPI(前期比/前年比)	3Q 0.4%/1.9%	0.5%/1.9%
	10:00	中 非製造業/製造業 PMI	10月 53.9/50.2	54.6/50.6
	15:30	日 黒田日銀総裁会見「長期金利ゼロ%程度を今変えるつもりはない」		
	16:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	9月 0.1%/-2.6%	0.5%/1.0%
	19:00	欧 コアCPI	10月 1.1%	1.1%
	19:00	欧 CPI速報値(前年比)	10月 2.2%	2.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	10月 227k	187k

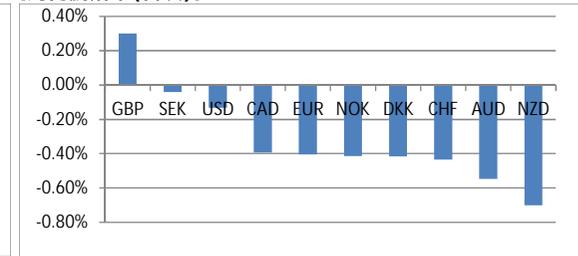
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	09:30	豪 貿易収支	9月 A\$1,700m	A\$1,604m
	10:45	中 財新・製造業PMI	10月 50.0	50.0
	21:00	英 BOE政策金利	- 0.750%	0.750%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 212k	215k
	23:00	米 建設支出(前月比)	9月 0.0%	0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 59.0	59.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.20	1.1300-1.1400	127.00-128.0

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は小幅ながら下落した。発表された米10月ADP雇用統計が予想を上回ったことで113円台半ばまで上昇するも、その後はドル売りが入り112円台後半まで下落した。ラップ英EU離脱担当相の書簡からBrexitの合意期待が高まって債券が対ドルで上昇したこともドル売りに繋がった。本日は上値の重い展開を予想。海外時間には米株が伸縮するも引けにかけては上げ幅を縮小、WTI原油価格は今年8月以来の水準まで下落している。明日2日(火)に米10月雇用統計を控えていることから様子見ムードとなり易いが、仮に昨日続伸していたアジア株を中心に調整が入る展開になれば、リスクセンチメントの後退から円高に振れやすいと考える。

東京	東京時間のドル円は113.07レベルでオープン。前日の米国株反発を受けてアジア株が総じて上昇して始まるも、ドル買い円売りが優勢となり113.34まで上昇。その後は利益確定の売りに押されて113.15付近まで一旦調整されるも、終盤にかけては再びドル買いが強まり、113.24レベルで海外時間に渡った。なお、正午ごろに日銀が発表した金融政策は市場予想通りの結果となり反応は限定的となった。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は値を下げた。113.24レベルでオープン。特に注目される材料も無く、海外時間の流れを引き継ぎ113.04まで値を下げるも、欧州株と米10年債が堅調に推移した事を背景に113.19まで値を戻した。その後113.10レベルでNYへ渡った。ボンドは上昇した。1.2714レベルでオープン。材料難の中、前日に約2か月ぶりの安値を付けた事を受けポジション調整にボンドが買われ1.2771レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は113.10レベルでNYオープン。前日に続き、朝方は米株高と米金利上昇を受けてリスク選好ムードが強まりドル買いが加速。今週金曜日(2日)発表予定の米10月雇用統計を控える中、米10月ADP雇用統計が予想を上回ったこともドル買いのサポート材料となり113.38まで上昇。しかし、ロンドンフィクシングにかけて月末締めと思われるドル売りが強まり、又、後述のブレグジット関連ニュースを受けたボンド、ユーロドルの買いもあり、113.00を下抜け、112.82まで下落。その後ドル売りが一巡し、113.00を狭み狭いレンジで推移。終盤はドル買いが一服した中、112.81まで下落し、その後、値を戻し112.96レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1345レベルでNYオープン。朝方はドル買いが強まり、1.1310まで下落する。その後ブレグジット交渉を巡り、ラップ英EU離脱担当相が書簡で11月中旬までに合意する可能性を示した、との報道が伝わり、ボンドが上昇したことから、ユーロも連れ高となり1.1347まで上昇。しかし、滞空時間は短(1.1302まで下値を更新するが、このレベルでは買い意欲も見られ、反発。終盤はドル買いが一服する中、1.1328まで値を戻す場面も見られたが、結局、1.1309レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・森谷